

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

駿豆あんしん住宅

グループの名称

静岡あんしん住宅の会

直近採択グループ番号

(グループ代表者)

代表者名

柴田 聡

代表者印

代表者所属先

有限会社シバタ建設

代表者所在地

静岡県静岡市清水区鳥坂1192-1

代表者電話番号

054-348-3376

(グループ事務局)

事務局事業者名

中部ホームサービス株式会社静岡営業所

事務局担当者名

鹿嶋 康裕

印

事務局郵便番号

424-0067

事務局所在地

静岡県静岡市清水区鳥坂531

事務局電話番号

054-347-4699

事務局FAX

054-347-4697

事務局担当者E-mail

sizu-ansin@chs-kenzai.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	駿豆あんしん住宅
2. グループの名称(必須)	静岡あんしん住宅の会
3. 直近採択グループ番号(必須)	--
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	静岡県
5. 結成年(必須)	2018 年
6. グループ代表者名(必須)	柴田 聡
7. グループ代表者の所属先(必須)	有限会社シバタ建設
8. グループ代表者所在地(必須)	静岡県静岡市清水区島坂1192-1
9. グループ代表者電話番号(必須)	054-348-3376
10. グループ事務局事業者名(必須)	中部ホームサービス株式会社静岡営業所
11. グループ事務局担当者名(必須)	鹿嶋 康裕
12. グループ事務局郵便番号(必須)	424-0067
13. グループ事務局所在地(必須)	静岡県静岡市清水区島坂531
14. グループ事務局電話番号(必須)	054-347-4699
15. グループ事務局FAX番号(必須)	054-347-4697
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	sizu-ansin@chs-kenzai.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	6	原木供給事業者が海外事業者であるため
II. 製材・集成材製造・合板製造	7	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2	
IV. プレカット	3	
V. 設計	12	
VI. 施工	13	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材		3	国内	
		外材		3	国外	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		4	国内	
		外材		4	国外	
		静岡県産材	静岡県	静岡県産材認定制度	1	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		15	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		20	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	20	戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		4	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟		
					0	m ²		
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟		
					0	m ²		
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	原則としては受付順に分配をしていく。但し、分配枠が少ない場合は、あらかじめ施工員から聞き取りを行い要望棟数合計が全への割り当て棟数を上回った場合は、事務局による抽選にて全員間の公平性を担保する。							
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)							
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)							
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸		
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)							
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
優良建築物型								
採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸			
採択床面積	m ²	交付申請床面積	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²			

<グループ構成員記入用リスト>VI. 施工-2 (長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

県 番号	構成員 番号	事業者 番号	事業者名	平成29年(1月~12月)の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計 数(H27~H29)			被災地 に該当	ZEHI ルダ ーに 該当	BELSI 務店 に 該当				
				元請の 新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅 の実績		うち認定低炭素住宅・性能向 上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅 の実績		優良建築物の 着工床面積の実績		長期優 良住宅	高度省 エネ型 住宅	ゼロエ ネ住宅							
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均										
22	VI - 16	75209	富士アセレン工業株式会社	6 戸	6 戸	0 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	3以下	3以下	3以下				○			
22	VI - 17	74991	株式会社山建舎	2 戸	2 戸	0 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	m ²	m ²	3以下	3以下	3以下						○	
22	VI - 19	74892	株式会社DESCO	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	0 戸	m ²	m ²	3以下	3以下	3以下							○
22	VI - 21		IMMEUBLE	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	3以下	3以下	3以下							
22	VI - 22	75078	戸?建設株式会社	5 戸	6 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	3以下	3以下	3以下							
22	VI - 23	75113	小玉建設株式会社	12 戸	13 戸	3 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	m ²	m ²	3以下	3以下	3以下					○	○	
22	VI - 25	75141	齊藤建築	3 戸	3 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	m ²	m ²	3以下	3以下	3以下							○
22	VI - 27	75302	有限会社シバタ建設	5 戸	5 戸	2 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	4以上	3以下	3以下							
22	VI - 28	75005	株式会社小野田産業	19 戸	22 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	3以下	3以下	3以下							
22	VI - 29	74988	株式会社甲静ハウジング	30 戸	30 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	3以下	3以下	3以下							
22	VI - 30	74858	株式会社建設のマルモ	32 戸	30 戸	28 戸	26 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	m ²	m ²	3以下	3以下	3以下					○	○	
22	VI - 36	75079	五朋建設株式会社	40 戸	36 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	m ²	m ²	3以下	3以下	3以下					○		
22	VI - 37	74822	株式会社TENアーキテクト	12 戸	12 戸	2 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	3以下	3以下	3以下					○		
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²										
VI -				戸	戸	戸</																	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 駿豆あんしん住宅	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 静岡あんしん住宅の会	(結成年) 2018年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄	
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	当会の活動域(静岡県中東部の沿海側)は、比較的温暖な気候に恵まれており、従来より住宅の断熱性能に関しては関心が低く、会員の施工業者も差別化の要因に積極的にPRしていなかった。また、地震に対する関心度は高い地域であるが、既に一般的な耐震性については標準的な考えが浸透しており、差別化の要素としては弱いため、特に訴求ポイントには位置付けてはいなかった。そこで当会ではコストの高騰を抑えた上で、基本的な省エネ・耐震性をしっかり担保し、「安心して居住いただける住宅」を目指す。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	各種法令や国が示す各種基準等を、机上の計算通り確実にクリアするために、会全体で基本スキルの習得やチェック体制の整備を進め施工品質の向上を図る。このための研修会や情報交換の機会を作るとともに、会で共通したチェック項目や方法を統一し、技術や仕上がりレベルの標準化を図る。また、資材等の調達については、調達ルートを共同化するなどにより、使用資材の品質水準を揃えていく。一方で、各施工会員が旧来より培ってきた、地域での実績や独自性は尊重し、一定の自由度と創造性は認めるものとする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	会として、画一したデザインは定めず、特に統一したアイコン的なもの求めない。また、むやみにデザイン偏重に陥ることなく、誠実に「安心して居住いただける住宅」を目指す。特に①で述べた省エネ性、耐震性は差別化の要素としては弱い、この2性能については誠実に基準適合を図り、この性能向上につながるデザイン(庇、開口の大きさ・位置、重心位置)には一層の注意を払う。	◎
④①～③の背景	前述の通り、当会の活動エリアにおいては(穏やかな気候が仇となり)温熱性能の低い住宅が、以前よりかなり多く供給されている。また耐震性についても、古くから言い続けられたこともあり、域内の地元住宅会社からするとPRポイントとしての位置づけが低くなっている。このため、断熱性能、省エネ性能、耐震性能について、「高性能化のためのコストアップ」が一般消費者に理解されにくく、住宅会社がこれらの取り組みを積極的に行わないといった悪循環になっている。このため高性能住宅をより多く供給するためには、可能な限り供給価格上昇を抑えることが肝要と考える。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	高度省エネ型についてはBELS認証を必須とする。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄	
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: PC会員の限定などにより、主要構造物などにおいては、可能な限り規格化を図る。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 性能に直結する建材(断熱材・サッシ・ガラス等)については、会としての推奨材を定めるとともに、一般消費者向けの説明資料を整備するなど施工会員が使用し易い環境を作り、可能な限り統一を進める。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 使用材料などの標準化を進める一方で、施工上のポイント(性能劣化を防ぐ注意点等)を共有することにより、施工会員の「標準」を揃えていく。	◎
②-1 建材・資材調達の共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 現行の仕入ルートの変更を強いることはしないが、集中購買によるコストメリットを創出するために、可能な限り調達先を限定した上で共同化を行う。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 施工会員・流通会員・メーカーの相互で、性能の試算段階から、お施主様への見積提出、実際の発注まで共通した資料を共有することで、各段階での手間を簡略化するとともに、齟齬を防止する。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局と主要会員により、業務の停滞が発生し易い点や作業効率の低い点を検証し、2ヶ月に1回程度の情報交換会を開催し、会員への情報共有を行う仕組みを作る。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各種の性能向上のために、試算～使用商材の選定についてのアドバイスを行う。また各種認定等の窓口の紹介や書類作成の支援を必要に応じ行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各施工会員の施工監理担当者向けに、各メーカー、業界が示す施工手順・遵守事項の説明資料を配布の上、会員の独自性は担保しつつも、一定の基準を示す。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 会で定めた重要ポイントのチェックリストの運用と、重要箇所の写真撮影を定め、瑕疵の防止と施工品質向上のため、検査項目を統一し事務局への結果報告を義務化する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各会員の独自性は認めるが、可能な限り「一式」といった表記を避け、一般消費者の方にも分かり易い表記を求める。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 基本仕様を変更する場合、性能向上のためのコストアップを分かり易く提示する。また間違った高スペックの売込みではなく、費用対効果の判る試算資料などの作成を行う。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 職方さんの出勤監視のためのソフトの導入など、各会員の職方さんの労務管理に有効と思われるツールや手法の導入を図りながら、工程立案～管理の指導を行う。	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 職方さんの技能計測を行い、一定以上の施工品質を期待できる職方さんの手間賃の割り増し(各現場の条件による差異を調整する方法の検討中)。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 業者会・各種研修会などの様々な場で、事務局による保険の説明と、保険証書等の確認などを行い、保険加入の重要性を訴求していく。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 熱中症予防のサプリメント・水などの配布、ヘルメット・安全帯などの頒布など。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 駿豆あんしん住宅	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 静岡あんしん住宅の会	(結成年) 2018 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅蓄積情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引渡し時に、重要事項説明の一環として、お施主様に書面にて履歴情報の蓄積作業の重要性を説明することとする。 ◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 原則使用とするが、使用経験の無い施工員は指導方法の説明を行った上で、今後の使用を推奨していく。 ○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 情報登録時の入力内容を、必要に応じ事務局に提示していただく。 ○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通のチェックシートを活用し、チェックポイントを居住者でも分かり易くする。 ◎
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 原則補修工事等は施工員が請負い、作業記録は施工員も管理する。 ◎
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画に則った点検、補修は施工員が行い、お施主様と情報を共有するとともに、あんしんいえるでの利用方法についても、施工員が積極的に指導を続ける。 ◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局内のスタッフ(DIYアドバイザー等の資格保有者)により、各会員からの要望に合わせ随時開催する。 ◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局内のスタッフ(DIYアドバイザー等の資格保有者)により、各会員からの要望に合わせ随時、体験会・説明会などを開催する。 ◎
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各会員の要望に応じ、必要な場合は事務局にて外部講師を招聘し開催する(例=FP等)。 ◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現時点では事務局スタッフにより、対象物件の個々の状況を随時確認し個別対応を実施。 ○	
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外装塗料メーカー等と共同で、10年ごとに無料で外装(塗膜・シーリング)の劣化診断を事務局手配で実施する。 ○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 近接の会員による工事継続の応援や、事務局の加わった形で、各種手続きなどのサポートを実施し、お施主様の被害を最小限に抑える。 ◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的(年1回)の総会や、重大事案発生時は随時に勉強会を実施。各事故事案の検証会を開催する。 ◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	お施主様や施工員会の負担を増大させることなく、確実な維持管理が継続できるよう、個々の作業を可能な限りスリム化すると共に、事務局側が積極的に関与し、適切な点検と補修作業・確実な情報蓄積を行う。 ◎	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計の初期段階から、事務局スタッフによるサポートを行い、現地における技術指導の機会と合わせ、未経験者の参入を支援する ◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 統一のチェックシートによる施工後の診断を行い、改善の必要がある場合は速やかに修復を行う。 ◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: チェックシートとそれに伴う写真の、事務局への提出を必須とし、事務局にて確認する。 ◎	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局スタッフによる会員の物件予測の把握と、それらを踏まえた材木調達におけるミスマランスが生じないように、早期より計画の立案を行い、会員で計画の共有を図る。 ◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各種業界団体などが主催する施工研修会・講習会への積極的な参加を促すため、事務局により推奨資格、講習会などの開催情報の告知を随時行う。 ◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各会員の計画・物件情報を早期に報告いただくと共に、部材の共通化などを進め、打合せ回数の低減、手配作業の簡略化を図る。 ◎	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 14 今年度の参加目標人数 10 ○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 10 ○		
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各会場の開催予定を事務局から会員個別に周知する。 ◎		
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 更なる「安心」として「制振装置」の標準化を進める。 ○	
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	本会の理念の通り、むやみに高スペック、高機能を追うのではなく、適切な設計と確実な施工により、当初の想定通りの性能を発揮することを目指す。そのため各施工員を中心に施工技術の向上を図るべく、事務局において様々な講習会などの機会を設けると共に、優良な商材などの推奨を進めていく。 ◎	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 駿豆あんしん住宅	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 静岡あんしん住宅の会	(結成年) 2018年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	当会では、主要構造部(土台・柱・梁桁)の50%以上に「合法木材」を使用する。また、静岡県の森林資源循環利用促進のため、「静岡県産材」の活用を推奨していく。使用割合50%以上を超えるための、土台・柱・梁桁の利用割合は自由とする。												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>合法木材、静岡県産材の供給において、地域材供給グループの認定事業者が、確実に合法性・持続可能性かつ分別管理されたことを証明し住まい手に供給する。</p> <p>・合法木材(合法木材証明制度) ・静岡県産材(静岡県産材証明制度)</p> <p>証明書(販売管理表)の発行</p> <p>I.原木供給 → II.製材・集成材製造 → IV.プレカット業者 → III.流通 → VI.施工業者</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">駿豆あんしん住宅 (住まい手)</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局は、見積時に施工業者の地域型住宅着工予定等の情報を入手し、地域材供給事業者グループと在庫数量の確認、調整を実施する。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局に配置する活動推進リーダーが、構成員であるプレカット業者と情報共有し、施工業者に適切な価格提示ができるようにする。												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局は、着工予定数から地域材の使用材積を算出し、需要量予測をする。供給可能量を確認し、材不足が発生しないよう、樹種の提案等実施する。												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 本格的な和室の導入は困難でも、リビングの一角を畳敷きにするなど、現代風のデザインの中に積極的に導入を奨励する。												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 調達ルートは確保し、一定の基準以上の商品を対象とし定めるが、耐震性などの面から不安を助長する方々もいるため、特に必須とはしない。												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 通風などに有利な「続き間」の仕切りや大空間のパーティションなどにおいて、現代的なデザイン解釈による襖は有効であり、積極的に推奨していく。												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 襖同様、障子も積極的に推奨していく。												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工会員(場合によっては設計会員も)は、建築候補地の事前調査を必須とし、町並みの調和を意識したデザインとする。												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 物件の随所に和のテイストが出るような、デザイン小物や装飾品などや、和の雰囲気の出る内装建材などの情報を事務局から発信する。												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	合法木材・静岡県産材の利用などについては、施工会員の業務負担を増大させてしまう懸念があるため、デザインやサイズの統一よりも、(会員各自の基本理念の理解・自覚を前提に)基本的な要件を定めるに留める。一方で設計打合せ段階から事務局の活動推進リーダーとの協働作業により、契約前に必ず各部位の使用樹種の確認を行い、50%以上の使用割合を達成していることを施主に説明できる資料を用意する。												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
	東日本大震災の復興に資する取組	直接的な支援活動の計画は無いが、東北地方に所在する合板を始めとした、建築資材や住設機器メーカーなどの材料を積極的に取り入れることで、些少ではあるが現地の支援につながればと考える。												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	現在継続している取組みは無い。今後はイベント開催時などに熊本地方の製品のチャリティ販売などの企画を検討する。												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 駿豆あんしん住宅	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 静岡あんしん住宅の会	(結成年) 2018 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

★基本方針★

■ あんしんの家創り

当会は、省エネ住宅建築に関して取り組みが浅い施工業者が、省エネ計算等スキルを習得し技術力を向上させ、住宅の低炭素化に継続して取組むことを目指す。また、当会の活動の中心地域は比較的温暖な地域のため、むやみにスペック偏重によるコストアップを招くことの無いよう、施工品質の向上とお施主様との良好な関係構築に重きを置くことで、「あんしん」して家創りをさせていただける様な取組みを目指す。

■ 情報の見える化の推進

- ・BELS認証の活用(必須)。
- ・全タイプ共通のルールとして第三者機関による履歴情報蓄積システムの活用(推奨)。

★ タイプ別の主な特徴 ★

◎ 認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅

①「外皮性能」について

その向上において費用対効果を十分に考慮し、断熱材・サッシをバランス良く強化し目標性能に対して最適化を図る。
 【 基準性能 外皮平均熱貫流率 **UA値=0.87 w/(m²・K)**、平均日射熱取得率 η A値=2.8 】

②「一次エネルギー消費量削減」について

エネルギー消費量の構成比の高い給湯機器については、一定の性能以上の機器の採用を義務化する。これらの製品は会として集中購買を実施し、建物の性能向上を図るとともに、会員の仕入金額低減も図っていく。その他の関連機器は会として推奨品を用意することとする。選定に当たっては、エリアリーダーも参画し各戸における有効性を試算しつつ、お施主様のご意向を踏まえ選定できるよう自由度は大きくする。
 【 基準性能 **一次エネルギー消費量削減率(R0値) 10%以上** 】

◎ ゼロ・エネルギー住宅

エネルギー消費性能の表示「BELS認証」

①「外皮性能」について

昨年度まで、外皮性能の断熱材・サッシの性能向上を奨めてきたが、サッシは更に性能強化また配置を考え、外皮性能向上を図っていく。ランクアップも図りながら、点検口等に断熱欠損が発生しない様、施工品質向上を強化する。
 【 基準性能 外皮平均熱貫流率 **UA値=0.6 w/(m²・K)** 平均日射熱取得率 η A値=2.8 (5, 6, 7地区) 】

②「一次エネルギー消費量削減」について

認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅と同様に、エネルギー消費量に大きく影響する機器は指定商品を設定する。
 【 **一次エネルギー消費量(太陽光を除く)削減率(R0値) 20%以上** 】

③「BELS認証」について

【 BELS認証評価 ★★★★★(BEI≤0.8)の取得。】

■ 静岡あんしん住宅【 駿豆あんしんの家 】 ZEHモデルプラン



外皮性能向上(高性能断熱材+サッシ)

モデルプラン計算結果

【6地域】

○外皮の断熱性能 UA **0.60** [w/m²K]以下

太陽光発電を除く
 ○エネルギー削減率(R0) (基準一次エネルギー消費量から) **R0 20.5%** 以上

○エネルギー削減率(R) (基準一次エネルギー消費量から) **R 105.3%** 以上

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。